



感染症週報



小笠原での流行状況

第23週（6月1日から6月7日まで）

父島 特別な感染症の報告はありませんでした。

母島 特別な感染症の報告はありませんでした。

※ 5例以上発生時に実数報告としています

東京都全体での流行状況

第22週（5月25日～5月31日）

【警報・注意報】

特にありません。

【ピックアップ】

プール熱(咽頭結膜熱)

6月頃から増え始め、7～8月にピークを迎えます。感染力が非常に強いいため、流行時期は手洗いや、タオルの共有を避ける等の予防が重要です。



ウェルシュ菌にご用心



ウェルシュ菌は、人や動物の腸管や土壌に広く存在する酸素を嫌う細菌(嫌気性菌)です。加熱に強い「芽胞」を作るため、100℃で煮込んでも生き残ります。大鍋で調理したカレーなどを室温で放置すると底の酸素が少ない居心地のいい場所で急速に増殖し、食中毒を引き起こします。

予防のポイント

- ①前日調理は避け、加熱調理したものはなるべく早く食べる。
- ②一度に大量の食品を加熱調理したときは、本菌の発育しやすい温度(43～45℃)を長く保たないように注意すること。(増殖可能温度12～50℃!)
- ③やむをえず保管するときは、小分けしてから急速に冷却すること。



内閣府食品安全委員会HPより



感染症メモ

東京都感染症情報センターのご紹介

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

感染症情報センターは、国の感染症発生動向調査実施要綱に基づき設置されるもので、各都道府県等域内に1カ所、原則として地方衛生研究所の中に設置することとなっています。東京都では、東京都健康安全研究センター内に感染症情報センターを設置しています。センターでは、保健所などからの患者情報、疑似症情報及び病原体情報を収集・分析し、都庁に報告するとともに、全国情報と併せて、これらを医師会等の関係機関に提供・公開し、各保健所に情報提供・支援をすることにより、感染症の発生及びまん延の防止に寄与することを目的に活動しています。



習慣にしよう!

感染予防の基本は手洗い



東京都島しょ保健所小笠原出張所